

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

# 常盤新聞

定価 一部金貳錢 廣五錢 休日曜大祭 福島縣石城郡平町長崎町三五  
 送料 五錢 一料五錢 日刊 印刷所 常盤毎日印刷所 電話六三〇番

刊夕日四十月二十

### 現内閣の正體 (五)

代議士 砂田重政

殊に今回の偽證の告訴は 反對派の策動に非ず、内閣 倒壊等の政權争奪にも關係 を有たぬ。由來現内閣を擁 護し、若槻總理大臣を援け て今日あらじめた憲政會の 最高長老にして政治的重要 なる地位に在りたる人が、 決然として此の舉に出たと いふ事は政治的に見て最も 深刻なる問題である、又た 斯の如き事は東西古今を通 じて全く其の例を見ない事 である。一黨の總裁にして


而も總理大臣たる人が其地 位を得せしめたる有力なる 其の黨の最高長老から斯る 刑事告訴を受けると云ふ如 き事は政黨として鼎の輕重 を問はれるのみならず、總 理大臣として國民指導の重 責を全うする事の如きは夢 想だも出来ない事である。 従つて若槻氏は單に總理大 臣たる職務を抛てる事は固 より憲政會總裁の地位も常 然之を辭職せなければならぬものであると思ふ。

六、眞に國家の爲めに深愛 併し乍ら以上は單に今日ま で世間に現れた事實を根據 として論じたに過ぎない先 般來眞浦氏が最後の決心を

固めて事實の真相を告白し た結果は從來の豫審取調に 更に幾多の新事實が暴露せ られ従つて如何なる高官に 如何なる波動を及ぼして來 るかは最も刮目して見なけ ればならない事實である。最 近若槻首相は各地到る處の 演説に於て綱紀の肅正官紀 の振肅が漸く其の緒につき たりと言明して居るが事實 は漸く其の反對の結果を段々 暴露し來つたので問題は 最早や現内閣に對する攻撃 といふ様な微温いものでな く、眞に國家の前途に對し 深憂すべき事態に立ち至つ て居ると言はねばならぬ (をばり)

平町紺屋町(縣社通り)  
**味の平食堂**  
 評判 オの部電話四六〇番

平町四丁目  
**會田時計店**  
 電話三六三番



正月の御用意には是非 今月より傑作揃の新譜 しんみりと 浪花節に音楽 陽氣に 小唄に民謡 おへんの宿替に 落語喜劇等 澤山人荷致しました

祝七五三 大賣出し  
 喜好屋吳服店の努力 社會奉仕として  
**反物三反**  
 一二圓で呈上  
 但... 數に限りあり  
 ... 一日に一百點  
 其他各種新柄入荷  
**喜好屋吳服店**

平町紺屋町(縣社通り)  
**平町實費病院**  
 平町郵便局裏通(電話五五一番)

小兒科一般、内科、皮膚花柳病科(血液検査)  
 外科、婦人科、耳鼻咽喉科  
 特設 動脈硬化症及中氣及肩コリ(血壓検査)  
 ◎藥價 大人一日一劑 金十七錢五厘 小兒一日一劑 金十二錢五厘 ◎診察料無料

診療主任 池田次郎  
 火、金、出張同 河井壽雄

町平町紺屋町  
**吉田眼科醫院**

三第 特價大品提供  
 一、染紉優等品 一圓十五錢  
 一、上等友仙モス尺十 五 錢  
 一、キヤラコ正花裏地 一圓廿錢  
 一、伊達巻 五十八錢  
 一、上等ナフトル友仙尺四 錢  
 ◎其他種々山の如く 豊富に積んであります

合名 會社  
**野中吳服店**  
 平町三丁目電話七六番

綿物不用品  
 古着 不用品 吳服 トリカヘマス  
 御通知次第參上  
 新川町三〇  
**野木源吾**

内科。外科。婦人科。  
 小兒科。花柳病科。  
**磐城病院**  
 平町田町本通り  
 入院隨時(電話二一四番)

道 草野染工場  
 領受牌金 印半天專門  
 優秀品の証明  
**草野染工場**  
 電話三四八番  
 磐城平町

三丁目聯合 特價大賣出し  
 各店舉げて特價品の山  
 十二月十二日より十八日迄  
 各店競ふての大々廉賣  
 此機会にわ買物は三丁目

主催 **平町小鳥ノ會**  
 電話三二八番

冬物荷揃特價大賣出し  
 大人メリヤス 六拾 錢より  
 ボーイシャツ 三拾 錢より  
 絹天女足袋 貳拾五 錢  
 ワイシャツ 壹圓五拾 錢  
 家庭別珍 參拾五 錢  
 毛メリヤス 貳圓五拾 錢より  
 都 腰 卷 壹圓參拾 錢

平町一丁目(電話六〇五番)  
**山家メリヤス店**

日時 十二月十九日(午前十一時ヨリ)  
 會場 平町藤田女學校階上  
 出品 來歡 歡迎

第一回小鳥持寄交換即賣會  
 會員外ノ出品規定其他詳細ハ藤田女學校内小鳥ノ會宛問合せラレタシ

泌尿婦人科皮梅毒科  
 外科 **阿部醫院**  
 平町字新川町電話六一五番

# 歳末の近づくにつれて 驚くべき諸物價の低落

## 生産過剰の餘徳

### 蔵拂ひ品の爲めに

在庫品の整理だ生産過剰に對する措置だといふ觸れ込みで歳末市場の諸物價は驚くほどの低落振りを示すに至つた斯くも日用品價の急激な變動には幾多の原因が横はつてゐるのだが就中不景氣の連鎖から來た

## 資金の回轉數問題

が最も大きいものなのである何でも彼でも算盤外な現金替は刻下の市場として止むを得ない事態であらうところから今日この頃中央市場へ出かけて現ナマの仕込れなら減法安い品物がドン／＼手に入るのことで茲に生産過剰の餘徳だ藏拂ひ品の提供だといふ

## 法外な 値段が現れる

るのである、市内の賣出しなどにおいても三四割方の低廉は普通で五六の割引なども平氣で行はれてゐるからいよ／＼歳末に迫つた季節市場の氣配なるものは目に見えらるゝ亂調子ではないかといはれてゐるのだ以上

## 相場安

は單に呉服太物とか毛糸類、足袋類とかさては諸雜貨類といつたばかりでなく水菓子類にも現れ津輕産の林檎などは豊産の關係も手傳つて東京市場のは産地の値段と比較し

てゐる、之は即ち地形の關係からであつて矯正は容易に出來る筈で同郡畜産組合では營業者と協力目下之れが改良に努力中である

## 小名濱農事講演 石城郡小名濱町にては來る十日

### 視察談を兼ねての訓戒

昨報逝去した滑川警中校長が七日台灣より歸つて病床中苦しみ中に筆をとり八日の朝令に際し教諭山崎延吉氏をして全校生徒に知らしめた視察談を兼ねての訓戒は左記の如くであつた

九日午前九時より同町小學校に於て農事講演會を催し本縣農事試験場高木技師の「稻熱病豫防並に對策」石城駐在野村技師の「養鶏養兔」石城農試分場長稻田技師の「促成栽培」等に關する講演ある由

## 小泉檢事が 頗る平易に 陪審法を説く

昨報十三日會は平銀行樓上に於て開かれ大嶺辯護士の開辭あつて川崎本社長の「ラヂオ放送の感」及び小泉檢事の「陪審裁判の話」と題する講演あつたが小泉檢事は陪審員の資格及び同裁判の構成其他手續等につき關し極めて平易に興味多く説かれ聴く者をして倦まいめず頗る有意氣な講演であつた

## 平町人事

### ▲婚姻

△石城郡神谷村大字鹽 清水廣博氏(三七) 四丁目二五鈴木モヘ(二九)

## 故滑川氏の 校葬告別式

### 來る十六日に

生徒諸子よ、私は昨七日午前四時に歸りました、無事と言ひ度いが、船と汽車との旅に疲勞困憊して直ちに到校して諸子の元氣な愉快な顔を見ることの出來ぬことは誠に残念の至りです、願ひれば先月十七日當地出發十四日神戸から吉野丸に乗船して十七日午後二時基隆に上陸されより台北に至り臺灣神社を參拜し(中略)十二月一日基隆より乗船し歸國の途につきました、乗船後何んとな



家庭欄

## 鯉節の買ひ方

新鮮なカツオで製造したものはその形状が完備し新鮮でないカツオで製造したものは身割れを生じ易く、また火入の際注意の足らぬものにはフクレを生じ易いのであります。一般に上等品といふのは形が整つて居て身割れやフクレがなく乾燥が十分で脂肪氣もなく上部は紅色を呈し光澤を有し香氣のよいものであります腐

# 年賀郵便 差出しの注意

## 愈々明十五日から 特別取扱ひを開始

平郵便局の年賀狀取扱ひは來る十五日より開始し二十九日迄行ふ筈だが毎年郵便物は増加する一方で一時的に局内が輻輳すると年賀狀に間違ひが起つたり年賀狀以外の郵便物にも

## 手違ひを惹起する

虞があるので同局では年賀狀差出し人の便宜を圖り案内兼用の用紙を各戸に配付するそつであるから其用紙を年賀狀の上に當て十字型

## 取集人

に堅く結んで最寄の郵便局に投函するか又多數出す方は局に電話を掛ければ直に

## 御平癒祈禱

### 赤井嶽にて

石城郡赤井村岡井嶽常福

番地を省略しないこと一、官衙を肩書したものの假令は神田區稅務署何某と書く送達上遅延の虞があるから必ず肩書地名(東京市麹町區大手町一丁目)を冠記すること一、驛名は東海道線又は中央線など、書かすに何縣何驛と書くこと一、三十日又は三十一日に差出すと近距離に達するものは年内に配達されるからなるべく二十四五日頃差出たたい一、未納又は不足の郵便物及外國郵便支那を除くは特別の取扱をしない

## 容易な工事

### 竣工は四年後

平小鐵道の布設工事に就て仄聞するに同工事は大正十七年度から二ヶ年繼續事業として着工される筈で工費は路線敷設上大なる工費を要するの個所なく極めて平々坦々たる平野で一哩二十萬圓總工費百八十萬圓の豫定で同線路は平町を起點として飯野、高久、豊間、江

## 餘光集出版

### 詩歌を輯めて

去月廿八日石城郡泉村郷社諏訪神社境内に於て記念碑除幕式を擧げた舊泉藩士從五位松井秀簡氏の贈位に就き各方面から記念祝賀詩歌俳の寄稿が甚だ多數に上つたので當主清水氏は之を收めて一卷となし餘光集と題して永く家寶とすると同時に菊版百四十頁の冊子として出版關係者に頒布中である